

閉会式プログラム

日 時 平成29年9月17日(日) 13:30～14:30(12:30受付開始)

会 場 函館市民会館(小ホール)

開 会

開会宣言 第71回全国レクリエーション大会 in 北海道実行委員会副会長 岩井 芳英

大会報告

主催者あいさつ 公益財団法人日本レクリエーション協会理事長 小西 亘

お礼の言葉 第71回全国レクリエーション大会 in 北海道実行委員会会長 蔵満 保幸

大会旗引き継ぎ

次期開催県あいさつ 高知県レクリエーション協会会長 宮田 速雄

高知県へ北海道からバトン 函館学生連合～息吹～

高知県PRタイム 高知県レクリエーション協会

高知県へ北海道からエール 函館大学附属有斗高等学校マーチングバンド部

閉会宣言 第71回全国レクリエーション大会 in 北海道実行委員会副会長 岩井 芳英

次期開催地 高知県からのメッセージ

「第71回全国レクリエーション大会 in 北海道」が盛大に開催されますことを、心からお慶び申し上げます。

いよいよ来年、初めての開催となる高知県で、初めて故の不安はぬぐえませんが、反面大きな喜びを感じております。

2018年9月21日(金)～23日(日)での「第72回全国レクリエーション大会 in 高知」の開催は、「維新の志士とレク談義 まっこと高知はおもしろい」を大会スローガンに、また、来年は明治維新から150年の年で、高知での開催は大変意義深いものになるうと思われまます。全国からご参集の皆さま、「レク維新」でおおいに盛り上がりとう、美味しい食べもの、豊かな自然……と、『まるごと高知』最良の土佐流おもてなしで皆さまをお待ちいたしております。

主催者あいさつ



公益財団法人日本レクリエーション協会理事長

小 西 亘

第71回全国レクリエーション大会が無事終了しました。まず、皆さんに、現時点における参加者数をお伝えします。参加状況は、8,335名でございます。当初多めに見込んでおりまして8,700名を目指していましたが、ほぼ目標は達成されたということでございます。台風の影響もあって参加できなかった人もいらっしゃったようですが、これだけの方にお起こしいただけたことに感謝申し上げます。

今大会は一言で言えば、コンパクトな大会であったということでございます。今までですと、県庁所在地以外でやることはあまりないのですが、函館は二度にわたってお世話になったところでございます。今回も大変お世話になりました。これだけの方に参加いただいたことは本当に素晴らしい大会だったと思います。事故も何もなかったということ。主催者としてはありがたいことです。

この大会は実に楽しい大会であったということが私の感想であります。開会式から楽しゅうございました。すばらしい函館有斗高等学校の生徒さんのマーチングバンドもありましたし、函館学生連合～息吹～の迫力あふれるよさこいソーランの演舞もございました。また、伝統的な餅つき囃子や江差追分で数多くの受賞をされております歌手の方にも登場していただきました。私が一番楽しく感じたのは、国の華幼稚園の子どもさんが出てきて、倒立や跳び箱など実に活発に動いていただきましたこと、またその中で困難にぶつかっても、あきらめないで努力する気持ちを感じ取れましたことには大変感動いたしました。そして、どこまで本当に腰が曲がっているのかわからないおばあさん方の婆あんのよさこいソーランは傑作でしたね。つつい笑ってしまいました。子どもから高齢者までみんなが楽しめるんだぞ、そういうレクリエーション大会だぞということを本大会は皆さんに伝えたかったんだろうな。このように感じております。本当に素晴らしい大会でございました。

交歓の夕べ、これもまた大変楽しゅうございました。オープニングでの地元ともえ太鼓の迫力、市民野外劇の一場面の披露、土方歳三に絡めて高知の坂本龍馬の登場と、正にレクリエーションならではの楽しさでございました。

もう一つ申し上げますと、ボランティアの方々、大変気持ちよかったですね。対応が大変素晴らしかったです。これもまた主催者といたしましてはありがたかったことでございます。

全体的に言いますと、私はこの大会は大成功に終わったということが実感でございます。裏方のボランティアの方はもちろんのこと、計画を立ててくださいました北海道レクリエーション協会の方々のご努力に感謝したいと思います。同時に何よりも、全国から参加いただいてこの大会を盛り上げてくださった皆様のご努力に心から敬意を表したいと思います。本当にありがとうございました。これをもって今回の大会は無事終了とさせていただきます。

引き続き来年は高知でございます。よさこいソーランをうまく合わせたものだなあと感じますけれども、来年も楽しい大会になりそうでございます。また皆さんで高知に行って、レクリエーション大会を楽しんでいただきたいと思います。まずは皆様に感謝を申し上げまして私のご挨拶にかえます。本当にありがとうございました。

お礼のことば



第71回全国レクリエーション大会 in 北海道実行委員会会長

蔵 満 保 幸

全国の皆様、大会にご参加いただきまして誠にありがとうございます。

私ども北海道レクリエーション協会は、3年前の福島の大会から視察をいたしまして、長野、岐阜とそれぞれの県が素晴らしい大会を運営しておられましたことに感銘を受けておりました。私たちも是非あのような大会にしたいと思い計画はしていたのですが、何と北海道は、九州と四国を併せたよりもっと広いです。札幌と函館は約250キロ以上離れております。釧路はどうかというと、600キロ以上離れており、移動が大変になるといった状況です。距離的には大体、東京と青森ぐらい離れているわけで、一同に介して会議をすることがなかなか出来ませんでした。そのため電話やメールでいろいろ打合せをしまいましたが、やはり運営をしておりますと、なかなか目の行き届かないところ、それから気配りの足りないところが多々あったように思っております。

ですが、皆様が非常に笑顔で参加しておられまして、また、夜も道南のおいしいものが皆様をもてなして、皆様が笑顔でおられることが一番の喜びでございます。

今、終わるということになりまして、なんとなく寂しいなという思いがしております。終わったと同時に私たち役員は腑抜けになるのではないかと心配しております。

来年は、暖かい鯉の町、南国土佐で皆様の笑顔と再びお会いできることを楽しみにしております。

また、北の大地の思い出を皆様がそれぞれのところにお持ち帰りになりまして、是非、『北海道はなまら良かったべや』と申し上げていただいて、仲間の人に、北海道はとっても楽しいという宣伝もしていただきましてありがたいです。

この大会を開催するにあたりまして、日本レクリエーション協会をはじめ、北海道の市町村のレクリエーション協会の皆様、そして全国の皆様に大変ご協力をいただきまして、無事大会を終えることができました。改めまして厚くお礼申し上げます。どうもありがとうございました。

次期開催県あいさつ



第72回全国レクリエーション大会 in 高知実行委員会会長

宮 田 速 雄

皆さん、こんにちは。高知県レクリエーション協会の宮田でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

函館、そして北海道の皆様方、3日間大変ご苦労様でございました。見事な、大変成功した大会ではないかと思えます。我々も非常に参考になりました。本当にありがとうございました。

来年は72回を数えるんですが、実は高知は1回も開催していないんですね。これが全国唯一残された県でございまして、いつできるかと思っていましたが、やっと出来るようになりました。本当にうれしく思っております。

今年は大政奉還から150年。来年は明治維新から150年。ということで高知では今年から、志国高知、志国というのは志の国と書くのですが、志国高知幕末維新博というのをやっております。県内一円で色々な催しをやっております。それから3月に、高知城のすぐ前に、高知城歴史博物館という非常に立派な博物館が完成しました。ここに坂本龍馬の最後の手紙であるとか、一番長い手紙であるとか、最近手紙が次々と見つかっておりまして、これも展示されております。どうかこれも見に来ていただきたいと心から願っております。

よさこいソーランが非常に華やかにやっておるんですが、なんかあれが源流みたいに言われているんですが、実は高知のよさこい祭りが本場でございます。毎年北海道からも来ていただいております。今年は64回目だったと思うんですが、全国から65チームが来ていただきました。全国200チーム、2万人が踊ります。高知もやってるんでなくて、高知がやっているんです。間違いのないようにしていただきたいと思います。

それから9月ですから、丁度戻り鰯のシーズンでございまして、脂ののった鰯のたたきが一番いい季節になっております。是非、今年以上の参加をしていただくことを心から願っております。日本レクリエーション協会の皆様も是非応援していただけたらと思えます。すばらしい大会にするつもりで、これから頑張って準備するつもりでおりますので、どうかよろしくお願いいたします。どうもありがとうございました。

大会資料 (INDEX)

協力者	70
協賛企業一覧	71
大会基準要綱	72
開催要項	74
大会役員	75
実行委員会名簿	76
運営委員会／事務局	77
参加者数一覧	78
大会のあゆみ	80
製作物	85
広報	87



本大会のため ご協力をいただいたみなさま

大野 智也 様	佐藤真由美 様	秋田 孝 様	林 一哉 様	本間 正毅 様
市川 隆 様	佐々木ツルエ 様	柳橋 正義 様	柴田 幸広 様	長谷川早智子 様
市川 恵子 様	加藤喜代次 様	明石 敏次 様	小松 正明 様	東 八枝子 様
越膳 恵子 様	大津 富司 様	岩井 優子 様	川又 修二 様	谷岡 浅子 様
大橋 令 様	今野 充 様	高田 康夫 様	秋山 幸夫 様	土谷 二郎 様
井田 正忠 様	榎 健三 様	奥山 修司 様	花房 和子 様	阪下美恵子 様
今野 一弘 様	小川 睦子 様	佐々木 環 様	渋谷 隆太 様	伊藤 繁子 様
岸 忍 様	藤田 直子 様	佐々木尚孝 様	岩内 正隆 様	三宅けい子 様
奥田 祥恵 様	本田 勝樹 様	東谷眞紀子 様	岩内隆二郎 様	野澤 信子 様
伊藤 智美 様	寺腰 一美 様	佐藤 和雄 様	赤塚 勉 様	辻 隆一 様
山口 悟 様	沼田 俊治 様	高田 節子 様	菊地 栄子 様	川崎 研司 様
黒川 和平 様	庄内 健司 様	岩島 勝子 様	高田 靖子 様	松本 伸吾 様
笹島 和美 様	中村宇太子 様	池田 幸子 様	中川 陽子 様	千葉 養子 様
大友由香里 様	渡辺知恵子 様	伊藤 静子 様	川上 利一 様	森定美津子 様
佐藤 宮子 様	皆川 容子 様	秋田 広樹 様	五十嵐佳子 様	須藤 智子 様
長野三恵子 様	池田 雅博 様	秋田 誠子 様	小林 秀子 様	西川 勝美 様
佐久間良和 様	堀澤 正一 様	住田 晃一 様	竹内 良子 様	引木 剛 様
高 洋子 様	三宅 愛子 様	高松 美子 様	桶田 岩男 様	長津 詩織 様
日高 晃 様	竹嶋 充 様	対馬 道則 様	菊地 武光 様	匹田美紀子 様
大橋 時英 様	長堀 守 様	佐藤 孝明 様	菊地 則子 様	佐藤 宏樹 様
畑山久美子 様	佐々千恵子 様	原子 秀康 様	宮本 和子 様	木村 司 様
越前谷君代 様	佐藤 宏子 様	浅利 繁 様	鈴木 弘子 様	富田 秀嗣 様
二瓶 光江 様	高橋 信子 様	小田切清志 様	原川 佐和 様	中空知レクリエーション協会 様
今野 敬子 様	望月恵美子 様	工藤 正人 様	佐々木美保子 様	札幌レクリエーション協会 様
水谷加寿子 様	橋本美枝子 様	平野 明彦 様	高田 博美 様	千歳市レクリエーション協会 様
久原 良子 様	古田 義明 様	三澤 卓 様	桑高真理子 様	さっぽろレクリエーション・ラボラトリー 様
浦川 博子 様	石塚 正男 様	岡村 茂 様	地主 和代 様	北見レクリエーション協会 様
及川美津子 様	榎波 一吉 様	河村 正利 様	伊藤 法雄 様	旭川レクリエーション協会 様
高森由紀子 様	桑原 幸治 様	中野 末三 様	伊藤 和恵 様	江別レクリエーション協会 様
堀 京子 様	吉田 義紀 様	北山 則子 様	佐藤 洋子 様	南十勝年輪レクリエーション協会 様
鷲尾みつ子 様	成田 浩平 様	小田野喜美子 様	若松 圭子 様	室蘭レクリエーション協会 様
佐藤美代子 様	田中 幸憲 様	星野 栄 様	小泉 正勝 様	岩見沢レクリエーション協会 様
木村 桂子 様	澤村 徹也 様	笹田 昌利 様	山本 道子 様	しべちゃレクリエーションクラブ 様
多田 早苗 様	永野萬里子 様	佐藤 晃 様	宇山 隆夫 様	十勝帯広レクリエーション協会 様
飯塚 広子 様	安味 洋子 様	徳永 裕司 様	廣島 千年 様	釧路レクリエーション協会 様
高島 弘子 様	五十嵐キミ 様	富原 孝一 様	町田 陽子 様	北海道レクリエーションダンス研究会 様
熊谷 邦子 様	小田 正則 様	佐藤 百樹 様	二本柳多喜子 様	北海道ディスコン協会 様
溝口 裕康 様	安田 ヨシ 様	東 洋子 様	谷藤チヨ子 様	社団法人日本 3B 体操協会北海道支部 様
小松 静子 様	三浦 拓望 様	松浦 和実 様	秋田 秀子 様	北人の会 様
児玉 国男 様	小田 恵子 様	富原 龍夫 様	佐藤ヒロ子 様	北海道レクリエーション協会四役 様
今野 善行 様	櫛引 厚子 様	野村 泰司 様	及川 良子 様	北海道レクリエーション協会 様
秋田 博子 様	平賀 泰子 様	内山 純子 様	菅野 博子 様	NPO 法人函館レクリエーション協会 様
森田 絹江 様	池田 育子 様	小川 芳美 様	松塚 博子 様	恵庭レクリエーション協会 様
星野 一郎 様	野村 幸子 様	梅川 芳信 様	山口 イチ 様	七飯レクリエーション協会 様
今野ひろみ 様	斉藤 克恵 様	河村 康英 様	榎 瑠美子 様	
今野由美子 様	伊藤 善弘 様	白木 厚子 様	薦 秀子 様	
中村 孝子 様	東 淳三 様	林 武雄 様	山川シゲ子 様	
吉田 修二 様	西村 康子 様	久本 安信 様	池内美美代 様	
川口 宣広 様	松島 幸和 様	宮田 宏之 様	外館 静代 様	
安居 弘美 様	竹内 公史 様	浅野 宏隆 様	佐藤 由美 様	
泉谷 富子 様	平井 幸枝 様	佐々木義幸 様	高森眞理子 様	
千場 弘子 様	伊藤 雅子 様	熊谷 茂勝 様	片山 正子 様	
日裏智恵子 様	杉本 美雪 様	飯田 倉雄 様	瀬野のぶ子 様	
岡本 咲予 様	小松 明美 様	佐藤 紀彦 様	滝本 貴 様	
新井 宏子 様	北川美枝子 様	葛城 節子 様	岩澤美代子 様	
椿原 宏哉 様	中村 幸江 様	永井 久徳 様	水谷眞貴子 様	
井上 宏美 様	小田 チヤ 様	佐藤 秀子 様	菱田 繁樹 様	
近藤 友和 様	和田由美子 様	前田 紀春 様	佐藤 孝行 様	
井澤 榮子 様	野崎 育子 様	斉藤 正勝 様	上杉 朗裕 様	
近藤 直人 様	佐藤 重彦 様	細田 和江 様	佐藤 訓大 様	
笹木 笑子 様	大竹 重幸 様	細田 和子 様	金谷 綾子 様	

本大会のため ご協力をいただいたみなさま

特定非営利活動法人アイディア C 体創協会 様
アウロラ商事株式会社 様
亜細亜学園同窓会函館支部 様
あそびの日 in ちとせ実行委員会 様
株式会社エクシング 様
エフデ 矢吹雅之 様
株式会社ガイアクリエーション 様
掛端自動車 様
菊大商店 様
特定非営利活動法人岐阜県レクリエーション協会 様
北海道キヨスク株式会社みかど弁当工場 様
広研印刷株式会社 様
高知県レクリエーション協会 様
株式会社 駒屋 様
五稜郭タワー 様
ゴンタ 様
里の会・北海道 様
株式会社ジェフ 様
有限会社スタジオアオヤマ（くじら屋） 様
瀬川瓦工業所 様
全国福祉レクリエーション・ネットワーク 様
全国レクリエーション・コーディネーター・ネットワーク 様
千正寺 様
株式会社体育レクリエーション需品センター 様
有限会社大成車体工業 様
館葬儀店 様
一般社団法人 WSSA - JAPAN 様
株式会社千歳板金 様
チャコット株式会社 様
辻学習館ピリカレラ 様
鉄拳道流空手拳法極限館 様
トランスグローブワダシスターズ 様
社会福祉法人 七飯町社会福祉協議会 様

七飯町商工会議所 様
公益財団法人 日本教育公務員弘済会 北海道支部 様
函館朝市協同組合連合会 様
函館空港ビルディング株式会社 様
社会福祉法人 函館市社会福祉協議会 様
函館トヨペット株式会社五稜郭店 様
函館の方で笑いヨガするべの会 様
函館山ロープウェイ株式会社 様
株式会社はこだてわいん 様
ヒューストン日本安全吹矢協会 様
特定非営利活動法人福島県レクリエーション協会 様
特定非営利活動法人ヘルスアップ・ジャギー 様
ペンション パリ・サラブレッド 様
株式会社報業社 様
社会福祉法人 北斗市社会福祉協議会 様
北斗市商工会議所 様
HOTEL GO! HAKODATE 様
有限会社ホテルテトラ 様
ホテル湯元河畔亭 様
丸文 林商店 様
マンダリンインターナショナル株式会社 様
名鉄観光サービス株式会社 様
メリーマム 様
有限会社やすらぎ 様
株式会社矢野写真館 様
有限会社山小屋 様
有限会社山住魚住青果 様
株式会社湯元啄木亭 様
横山印刷 様
有限会社吉崎自動車工業 様
特定非営利活動法人 リトミック研究センター 様
ロミ・マザー 様

全国レクリエーション大会開催基準要綱

公益財団法人 日本レクリエーション協会

昭和 53 年 4 月 1 日制定

61 年 11 月 14 日改訂

63 年 4 月 1 日改訂

平成 4 年 3 月 25 日改訂

14 年 5 月 22 日改訂

25 年 6 月 13 日改訂

28 年 8 月 11 日改訂

1. 趣 旨

この要綱は、全国レクリエーション大会（以下「大会」という。）を開催・運営するための基本事項を定める。

2. 目 的

大会は、国民一人ひとりの幸福で豊かな生活の形成を目標としたレクリエーション運動の推進の一環として、生涯を通して楽しみ、喜びを味わえるレクリエーション活動を体験し、全国からの参加者と開催地住民との交流を図り、さらに全国各地及び各専門領域におけるレクリエーションに関する研究、実践の成果を結集することにより、今後の生涯スポーツ・生涯学習の振興とレクリエーション運動の活性化に資することを目的とする。

3. 開催回数

大会は、毎年 1 回開催し、昭和 22 年に開催された大会を第 1 回として、以降年毎に順次回数を定める。

4. 主催者

大会の主催者は、次のとおりとする。なお、その他必要と思われる場合は付加することができる。

- | | |
|-----------------------|-------------------------|
| (1) (公財) 日本レクリエーション協会 | (6) 開催地政令指定都市教育委員会 |
| (2) 開催地都道府県 | (7) 開催地政令指定都市レクリエーション協会 |
| (3) 開催地都道府県教育委員会 | (8) 開催地市町村 |
| (4) 開催地都道府県レクリエーション協会 | (9) 開催地市町村教育委員会 |
| (5) 開催地政令指定都市 | (10) 開催地市町村レクリエーション協会 |

※種目別全国交流大会については、(公財) 日本レクリエーション協会加盟種目団体を含めたものとする。

5. 主管団体

大会の主管団体は、大会実行委員会とする。

6. 共 催

大会の共催機関・団体は、スポーツ庁等とする。

7. 後 援

大会の後援機関・団体は、総務省等とする。

8. 協 力

大会の協力機関・団体は、(公財) 日本レクリエーション協会加盟団体、関係団体等とする。

9. 協 賛

大会の協賛機関・団体は、大会の趣旨に賛同し、協力する機関・団体等とする。

10. 開催地

大会の開催地は、開催を希望する都道府県又は政令指定都市のうちから、（公財）日本レクリエーション協会が決定する。

11. 開催期間

大会の開催期間は、3日間とする。

12. 財 源

大会の経費は、次のものをもって賄うものとする。

- (1) 国庫補助金
- (2) 開催地地方自治体補助金
- (3) （公財）日本レクリエーション協会負担金
- (4) 開催地レクリエーション協会負担金
- (5) 参加料
- (6) 広告料、受託料、助成金、協賛金、寄付金等

13. プログラム

大会プログラムは、原則として次のとおりとする。なお、細部については主催者が協議・検討し決定する。

(1) 開会式

レクリエーション運動の成果を確認し、推進の方向を共有する場とする。

功労者・優良団体の表彰、歓迎アトラクション及びすぐれた実践をした組織・個人等の発表のほか、レクリエーションに関する諸問題について、シンポジウムや講演会を行うこともできる。

(2) 交歓のタベ

人と人とのネットワークをつくる機会と位置づけ、関係者が楽しく交流できる場とする。

(3) 研究フォーラム

個人の生活におけるさまざまな楽しみの仕方、その提供の方法・仕組み等について、全国から関係者がつどい、相互の発表・討議によって、各種活動のノウハウを蓄積し、全国に発信する場とする。

(4) 種目別全国交流大会

（公財）日本レクリエーション協会の加盟種目団体の種目の愛好者が集まり、勝敗にこだわらず、楽しみながら交流を図る場とする。また、日頃の活動の成果発表の場とし、各種目の普及発展による生涯スポーツの振興をめざす。

(5) 特別行事（フェスティバル）

開催地住民を対象にさまざまなニュースポーツを体験し、スポーツ・レクリエーション活動に関する用具・設備および関連の図書・資料の展示コーナー、相談コーナー等の場とするほか、地元物産フェア展等を開き、参加者個人が楽しみを見つける場、体験できる場とする。また、全国各地からの参加者との交流の場としても位置づける。

(6) 協賛行事、特別協賛行事等

関係機関・団体が大会の趣旨に賛同して自主的に開催する協賛行事、種目別全国交流大会に参加する種目以外のレクリエーション種目等について、主催者が関係機関・団体に依頼して開催する特別協賛行事等を開催することができる。

(7) 閉会式

大会をふりかえり、次年度につながるリレーステージの場とする。

14. 補 則

この要綱に定めるもののほか、大会の開催及び運営に関し必要な事項は、大会実行委員会が定める。

第71回全国レクリエーション大会 in 北海道 開催要項

【大会スローガン】 北の大地 ふくらむ ひろがる レクの輪

- 趣 旨 本大会は、国民一人ひとりの幸福で豊かな生活の形成を目標としたレクリエーション運動の推進の一環として、生涯を通して楽しみ、喜びを味わえるレクリエーション活動を体験し、全国からの参加者と開催地住民との交流を図り、さらに全国各地及び各専門領域におけるレクリエーションに関する研究、実践の成果を結集することにより、今後の生涯スポーツ・生涯学習の振興とレクリエーション運動の活性化に資することを目的とする。
- 期 日 平成29年9月15日（金）～17日（日）
- 会 場 北海道内各会場（函館市、北斗市、恵庭市、七飯町、森町）
- 主 催 公益財団法人日本レクリエーション協会／
北海道レクリエーション協会／北海道／北海道教育委員会／
開催市町・教育委員会・レクリエーション協会
- 共 催 スポーツ庁
- 主 管 第71回全国レクリエーション大会 in 北海道実行委員会
- 後 援 総務省／環境省／厚生労働省／経済産業省／国土交通省／林野庁／人事院／
（一財）日本宝くじ協会／（公財）日本体育協会／（公社）全国スポーツ推進委員連合／
（社福）全国社会福祉協議会／（一社）日本新聞協会／（公財）健康・体力づくり事業財団／
NHK函館放送局／STV札幌テレビ放送／北海道放送株式会社／UHB北海道文化放送／
HTB北海道テレビ／株式会社テレビ北海道／北海道新聞社／函館新聞社／
（公財）北海道体育協会／北海道スポーツ推進委員協議会／（社福）北海道社会福祉協議会／
（公財）北海道生涯学習協会
- 参加対象 道民／（公財）日本レクリエーション協会公認指導者／
（公財）日本レクリエーション協会加盟団体関係者／
地域・行政等の生涯スポーツ・レクリエーション関係者／余暇行政等関係者／
学校教育・幼児教育・社会教育関係者／福祉領域におけるレクリエーション関係者 など
- 参加費 参加者 一人 2,000円（学生1,000円、中学生以下 無料）
「交歓のタベ」参加費は、別途5,000円

大会役員

大会名誉総裁 三笠宮百合子妃殿下

大会名誉会長 林 芳 正 高 橋 はるみ

大会名誉副会長 鈴木 大地 工 藤 壽 樹 高 谷 寿 峰 原 田 裕
中 宮 安 一 梶 谷 恵 造

大会会長 小 西 亘

大会副会長 今 里 讓 樋 口 修 資 蔵 満 保 幸 柴 田 達 夫
辻 俊 行 永 田 裕 佐々木 良 幸 與 田 敏 樹
増 川 正 志

大会顧問 亀 井 伸 照 長 堀 守

大会参与 安 達 栄 丸 山 正 岩 井 芳 英

大会委員 浅 野 祥 三 笠 原 一 也 神 崎 清 一 仲 野 隆 士
中 村 和 彦 橋 本 英 洋 福 田 芳 則 本 多 勉
松 尾 哲 矢 マーレー 寛子 渡 邊 佳 洋 河原塚 達 樹
小田原 一 記 小 川 眞佐子 後 藤 剛 彦 河 崎 誠 一
酒 井 敦 子 小久保 信 幸 植 田 尚 史 長谷川 浩 幸
大 泉 潤 堀 達 也 山 田 健 須 賀 信 昭
樋 泉 実 広 瀬 兼 三 坪 田 敏 男 長 瀬 清
押 塚 登貴夫 松 本 文 明 福 川 晃 也 中 道 紘 一
田 中 祥 子 田 邊 哲 人 口 元 周 作 中 島 豊
佐 藤 洋 子 牧 野 義 一 星 芳 広 引 木 剛
松 本 伸 吾 熊 谷 邦 子 川 口 宣 広 寺 腰 一 美
長 江 孝 北 村 憲 司 岸 忍

実行委員会

役職名	氏 名	所 属 / 職 名
会 長	蔵 満 保 幸	北海道レクリエーション協会 会長
副 会 長	岩 井 芳 英 浅 野 祥 三	北海道レクリエーション協会 副会長 公益財団法人日本レクリエーション協会 理事
委 員	長 谷 川 浩 幸 大 泉 潤 辻 俊 行 永 田 裕 譽 田 敏 樹 増 川 正 志 堀 達 也 山 田 健 須 賀 信 昭 樋 泉 実 広 瀬 兼 三 坪 田 敏 男 長 瀬 清 佐 々 木 良 幸 押 塚 登 貴 夫 松 本 文 明 福 川 晃 也 中 道 紘 一 田 中 祥 子 田 邊 哲 人 口 元 周 作 中 島 豊 佐 藤 洋 子 牧 野 義 一 星 芳 広 川 口 宣 広 引 木 剛 松 本 伸 吾 小 田 原 一 記	北海道環境生活部文化・スポーツ局スポーツ振興課 課長 函館市観光部 部長 函館市教育委員会 教育長 北斗市教育委員会 教育長 七飯町教育委員会 教育長 森町教育委員会 教育長 公益財団法人北海道体育協会 会長 日本放送協会函館放送局 局長 北海道文化放送株式会社 代表取締役社長 北海道テレビ放送株式会社 代表取締役社長 株式会社北海道新聞社 代表取締役社長 北海道スポーツ推進委員協議会 会長 社会福祉法人北海道福祉協議会 会長 恵庭市保健福祉部 部長 一般社団法人日本インドアカ協会 会長 日本パドルテニス協会 会長 NPO法人日本ティーボール協会 理事長 北海道ペタンク・ブール連盟 会長 日本ユニカール協会 会長 公益財団法人日本スポーツチャンバラ協会 会長 一般社団法人ジャパンタッチ協会 理事長 公益財団法人日本フォークダンス連盟道央支部 理事長 公益財団法人日本フォークダンス連盟レクリエーション協会 公益財団法人日本フォークダンス連盟日本民踊実行委員長 北海道レクリエーション協会 理事長 北海道レクリエーション協会 理事 北海道レクリエーション協会 理事 北海道レクリエーション協会 理事 公益財団法人日本レクリエーション協会 事務局長
監 事	庄 内 健 司 松 島 幸 和 平 澤 清 明	北海道レクリエーション協会 監事 北海道レクリエーション協会 監事 平澤清明税理士事務所 税理士

運営委員会

役職名	氏 名	所 属 / 職 名
委 員 長	蔵 満 保 幸	北海道レクリエーション協会 会長
副委員長	岩 井 芳 英 小田原 一記	北海道レクリエーション協会 副会長 公益財団法人日本レクリエーション協会 事務局長
委 員	鈴 木 靖 堀 田 寿 生 外 山 寛 町 谷 仁 志 八 木 橋 直 弘 福 川 晃 也 金 丸 孝 也 嘉 屋 秀 樹 西 谷 小 百 合 菅 井 利 通 丸 山 恵 司 新 井 貢 野 澤 信 子 星 芳 広 川 口 宣 広 引 木 剛 松 本 伸 吾 後 藤 剛 彦	北海道環境生活部スポーツ振興課 主幹 学校法人野又学園 函館大学 事務局長 函館市観光部観光推進課 課長 函館市教育委員会生涯学習部スポーツ振興課 課長 北斗市教育委員会社会福祉教育課 課長 七飯町教育委員会生涯学習課 課長 森町教育委員会体育課 課長 恵庭市保健福祉部健康スポーツ課 課長 函館市社会福祉協議会 事業課長 北斗市社会福祉協議会 事務局長 七飯町社会福祉協議会 課長 北海道課程認定校協議会 事務局長 NPO法人函館レクリエーション協会 会長 北海道レクリエーション協会 理事長 北海道レクリエーション協会 理事 北海道レクリエーション協会 理事 北海道レクリエーション協会 理事 公益財団法人日本レクリエーション協会 マネージャー

専門部会長

氏 名	専 門 部 会
岩 井 芳 英	式典部会
星 芳 広	総務・企画・広報部会
川 口 宣 広	研究フォーラム部会
引 木 剛	種目別全国交流大会部会
松 本 伸 吾	特別行事部会

事務局

氏 名	所 属 / 職 名
北 村 憲 司	北海道レクリエーション協会 事務局長
岸 忍	北海道レクリエーション協会 事務員

参加者数一覧

大会参加者数(延べ人数)

プログラム	参加者			スタッフ等	合計
	道内	道外	小計		
総合開会式	319	765	1084	341	1,425
交歓のタベ	388	92	480	94	574
種目別全国交流大会	729	1855	2584	238	2,822
特別協賛行事	610	187	797	61	858
研究フォーラム	413	1148	1561	279	1,840
特別行事	1280	194	1474	121	1,595
協賛行事	367	322	689	56	745
閉会式	65	104	169	112	281
会議	25	87	112	0	112
計	4,196	4,754	8,950	1,302	10,252

研究フォーラム

プログラム		道内	道外	参加者計
1	レクを「学び」と「気づき」につなげる体験活動へ	13	17	30
2	「もしとき教室」もしもの時に備える減災教育とは？	8	9	17
3	市民の心をわしづかみ！！顧客のニーズがわかるマーケティング	2	13	15
4	認知症？な～んもみんなと一緒にだあ	22	31	53
5	化粧療法でこころの元気！	17	11	28
6	若手がいない！？育たない！？組織を引っ張る若手人材を育てる い・ろ・は	22	16	38
7	レク支援者のためのリスクコントロール	7	13	20
8	イランカラプテ！アイヌ民族の生活文化・歴史を知ろう	11	39	50
9	イランカラプテ！アイヌ民族の遊びを体験しよう！	7	43	50
10	イランカラプテ！アイヌ民族の心を描く	5	34	39
11	北海道の自然資源 エゾシカDEクラフト	19	35	54
12	北の国から～地球環境と富良野自然塾～	2	26	28
13	愛のといかけDEプチ自分史をつくらう	6	11	17
14	レク・ワーカーだからこそできる支援プログラムとは	4	40	44
15	介護予防のための実践プログラムとは	16	61	77
16	福祉現場のレクリエーション実践を科学する	16	42	58
17	レクの最先端に行くコーディネーター大集合！！	3	31	34
18	レクの最先端アクティビティ大集合！！	17	47	64
19	家族いきいき健康upアクティビティ～7人の仕事人見参～	9	54	63
20	レク・コーディネーターと福祉レクワーカー養成校教員が捉える資格の本質・有効性・将来像	0	19	19
21	レク・インストラクター＆スポレク指導者が活躍するJAPAN	3	14	17
22	新しいレクリエーション・インストラクター養成新カリキュラム紹介	3	16	19
23	レク・インストラクター新カリキュラムの効果的な講義法の研究	3	9	12
24	RIO2016活動レポートと、東京2020で輝くレクリエーションの可能性を探る	1	8	9
25	見て！触って！体験できる！ 目指せ！レクリエーション用具マスター	4	15	19
26	スポーツ未実施者(無関心層)を掘起し、継続へとつなげる「動機づけの支援技術」	7	24	31
27	健康寿命を延伸するために	6	32	38
28	GWT財 4連発	9	28	37
29	4年間の取り組み「スポーツ大好きふくいっ子育成事業」	2	12	14
30	「スポーツボランティアはレクリエーション」2020スポボラGO	1	15	16
31	笑って歌って楽しい介護予防レク講座	9	38	47
32	もっと気軽に、気軽にアイスブレーキングしませんか？	11	29	40
33	楽しめる滑舌	12	15	27
34	Let's Singing and Dancing!!	13	26	39
35	去年は、ありがとうございましたの岐阜発信!!「手ぬぐい太郎」がやってきた!!	8	13	21
36	散歩学ワークショップ・・・楽しく歩くためのプログラム開発法	0	12	12
体験コーナー：大地の恵 北のキッチン		55	95	150
体験コーナー：ねらえNO.1		60	155	215
計		413	1,148	1,561

種目別全国交流大会

プログラム		道内	道外	参加者計
101	インディアカ	17	167	184
102	スポーツチャンバラ	33	290	323
104	ティーボール	73	0	73
105	日本民踊	126	337	463
106	バドミントン	0	216	216
107	フォークダンス	242	129	371
108	ペタンク	105	11	116
109	ユニカール	15	176	191
110	レクリエーションダンス	118	529	647
計		729	1,855	2,584

特別協賛行事

プログラム		道内	道外	参加者計
103	タッチラグビー	13	12	25
201	クッブ	3	25	28
202	車椅子レクダンス	509	115	624
203	ディスコン	85	35	120
計		610	187	797

特別行事

プログラム		道内	道外	参加者計
A	異国情緒あふれる函館 ウォークラリー大会	47	79	126
B	ようこそ七飯 フルーツロードへ フルーツウォーキング	21	27	48
-	全国交流サロン	12	28	40
-	体験広場	1,200	60	1,260
計		1,280	194	1,474

協賛行事

プログラム		道内	道外	参加者計
全国落語大学		300	160	460
函館観光ウォーク(全4コース)		35	145	180
ヒューストン健康安全吹矢		32	17	49
計		367	322	689

都道府県別参加人数一覧

都道府県	人数	都道府県	人数	都道府県	人数	都道府県	人数
北海道	2,745	東京都	234	大阪府	46	福岡県	56
青森県	133	山梨県	6	兵庫県	36	佐賀県	4
岩手県	44	新潟県	32	奈良県	2	長崎県	9
宮城県	128	富山県	9	和歌山県	2	熊本県	40
秋田県	61	石川県	24	鳥取県	22	大分県	20
山形県	34	福井県	9	島根県	40	宮崎県	14
福島県	94	長野県	24	岡山県	8	鹿児島県	19
茨城県	14	岐阜県	109	広島県	26	沖縄県	28
栃木県	63	静岡県	51	山口県	31	その他国内	266
群馬県	13	愛知県	60	徳島県	6		
埼玉県	198	三重県	47	香川県	27	韓国	29
千葉県	77	滋賀県	50	愛媛県	4		
神奈川県	185	京都府	8	高知県	55	合計	5,242